

すえつく精一  
後援会会報

# まっすぐ国政報告通信

第3号  
令和5年1月1日発行



## ごあいさつ

新春のお慶びを申し上げます。皆様には日頃より多大なご支援を賜り心から感謝申し上げます。昨年もコロナ禍が続き大変な一年でありました。今年こそこの脅威を乗り越え、新たな希望の年になることを心から願うばかりです。

衆議院議員 末次精一

## 臨時国会を終えて

令和4年10月3日から始まった臨時国会は、21本の法案と約28兆9000億円の補正予算が成立し12月10日に閉会しました。

法案の中で、旧統一教会問題を受けた被害者救済新法の成立は、被害者家族の救済に大きな一歩を踏み出しましたが、その実効性が今後の課題であると考えています。また、与党の賛成多数で成立した補正予算については、物価高への負担軽減を柱とする経

済対策という名目ですが、その内容が緊急性を欠き、今苦しむ国民の生活を救うことはできないとの理由から反対いたしました。

そして、私がおもったことは、必要と思われない補正予算の中の約9兆円の基金と約5兆円の予備が象徴するように、変わらない与党自民党の利権体質です。

なぜならば、基金や予備費になってしまおうと使途のチェックが国会でできなくなってしまう、まさに闇の中にお金が入ってしまうからです。さらに、今回の補正予算の財源の大半は国債の発行でまかなうことで、すでに岸田総理が増税に言及したように、結局はその負担は国民にきます。

政治は本来国民の生活を良くするためにあると私は思いますが、国民に負担を押し付け、国民の暮らしを二の次にして、その一方で自分たちの利権を増やしていく政治が本当に国民のための政治なのか、今の日本の政治の大きな問題点であると私は強く思います。



## 政権交代が必要な日本の政治

そもそも、なぜこのような腐敗した政治が行われるのか。確かに、自民党が多数を占めることは国民の投票による結果ではありますが、その一方で、今の政治の実態や裏側をマスコミが正確に国民に伝えていないことも原因だと思えます。また、国民の政治不信や無関心から投票率が下がり、(必ず選挙に行く)組織票を持つ与党が優位になるということもあるでしょう。

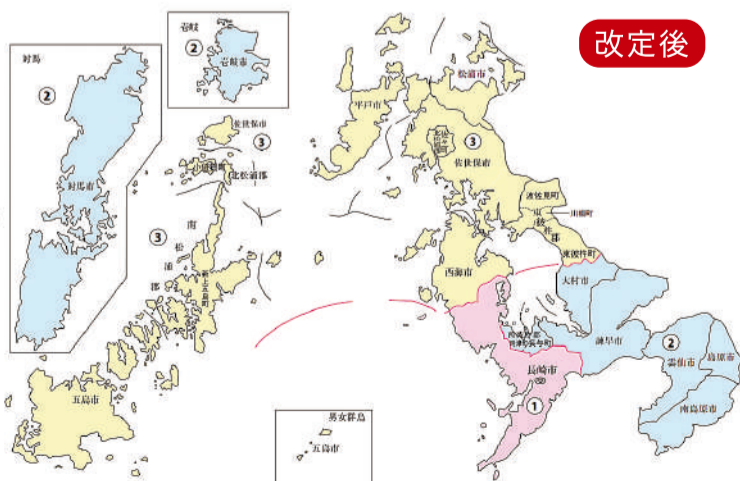
しかし、一番の原因は、野党がばらばらで自民党に対抗しうる勢力になっていないことにあると私は思います。結果として、自民・公明の独裁のような政治が続く。そして、権力を持ち続けることに慣れてしまい、次第にやりたい放題、行なったことに責任を取らなくなってくる。

「権力は必ず腐敗する」という言葉は、私が政治の世界に入る後押しをしていただいた田中角栄総理の秘書であった故・早坂茂三さんから教わったのですが、まさに、その言葉通りになっているのが日本の政治の現状です。歴史を振り返っても明白ですが、腐敗した権力が続いた国家が繁栄したことはありません。だから、政権交代が起こることこそが腐敗した政治を断ち切る一番の方法なのです。

## 衆議院の選挙区が変更になる

小選挙区において1票の格差を是正するため、区割りを見直す「公職選挙法の一部を改正する法律」が今回の臨時国会で成立しました。これによ

り長崎県は4つの衆議院の選挙区が3つに変更になります。新長崎3区―黄色(佐世保市、北松浦郡、平戸市、松浦市、西海市、五島市、東彼杵郡、新上五島町)



## すえつく精一プロフィール

- 1962年佐世保市大宮町生まれ。
- 学歴  
藤原幼稚園、福石小学校、八幡小学校、清水中学校、青雲高等学校、京都大学工学部
- 職歴  
旧・川崎製鉄(現・JFEスチール)、衆議院議員小沢一郎秘書、長崎県議会議員(議会運営委員長を務める)、衆議院議員(現在1期目)
- スポーツ歴  
サッカー(川崎製鉄社会人サッカー部)、新極真空手(長崎県大会出場)



# 国会活動報告 ー国土交通委員会ー

令和4年10月28日に大臣所信に対する国土交通委員会が開催され、末次精一は立憲民主党を代表し、西九州新幹線と住宅行政について質問に立ちました。

## ●西九州新幹線長崎ルートについて

西九州新幹線長崎ルートは9月23日、長崎市と武雄温泉を結ぶルートが開通しました。当初は、FGT(フリーゲージトレイン)方式で長崎市と新鳥栖間を結ぶ計画でしたが、FGTの開発に失敗し全線開通が頓挫したため部分開通となり、嬉野武雄温泉駅で在来線に乗り換える対面方式での開業になりました。そのため、時間短縮効果は激減することから、全線開通することが残された最大の課題となっています。末次精一は、FGTの失敗の責任を国が取り、フル規格による全線開通を求めました。

## ●住宅行政について

末次精一は、住宅行政の目玉となる3つの視点、①空き家・空き地対策(所有者不明土地問題を含む)、②脱炭素省エネ対策、③マンション管理問題を取り上げた上で、特に地方活性化・地方創生に直結する①について質問を行いました。空き家対策については、自治体のマンパワー不足であること、民間サイドの参画意欲が起きづらいこと、農地付き空き家の流通障害、低未利用地の税制の改正などについて具体的な解決策を政府に提示し、対策を求めました。



立憲民主党 無所属 末次 精一

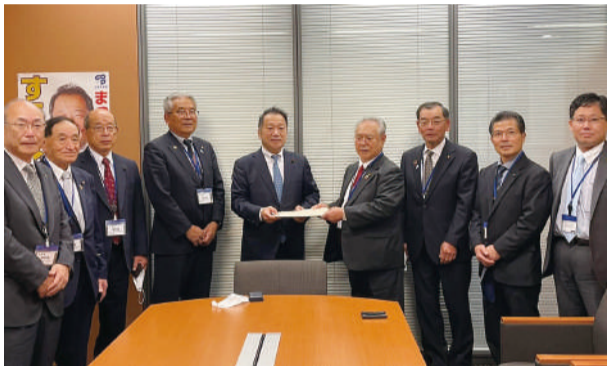
新幹線FGT頓挫に国交相「責任感じる」  
長崎ルート、末次氏質疑で立憲民主党の末次精一議員(比例九州)は28日の衆院国土交通委員会、九州新幹線長崎ルートの全線フル規格化を巡り、「費用負担と並行在来線の問題について、全面的に国が責任を持つべき」と指摘し、整備方式の具体策を各紙に掲載されました

相に求めた。末次議員は、国が進めたフリーゲージトレイン(軌間可変電車、FGT)開発計画が頓挫した責任を問う形でフル規格化へ向け整備の具体策を要求。斎藤氏は「責任は十分感じている」と述べたものの、具体策には触れなかった。末次議員は「佐世保の状況を生み出したのは国と幅広い協議の中でスパーッと批判した。(大場泰造)

## 離島振興法の審議で答弁者として発言しました

離島振興法は、今国会で延長の為の審議が行われました。これまでと大きく異なる点は、「離島における人口減少の防止と定住の促進」「様々なソフト施策等に関する配慮規定の追加」「ソフト施策等を推進するため交付金の創設」などとなっています。

末次精一は、11月15日に行われた参議院の国土交通委員会、立憲民主党を代表して、議案提出者として答弁を行いました。



県内自治体議長さんからご要望書を拝受いたしました

## 地元活動報告

末次精一は、「現場の声を聞く」ことを最も大切にしています。まずは「現場の声を聞く」場が必要と考え、地元と国の政策を担う担当者が直接意見を交わせる機会をつくってまいりました。

そこで、9月に「エネルギー問題」、11月に「住宅防災」をテーマに、自治体担当者や関連事業者の方々に多数ご参加いただき、意見交換会を開催させていただきました。

「エネルギー問題」については、2050年\*カーボンニュートラル実現に向けての国の取組みについて、元東京電力会長で末次精一が川崎製鉄勤務時代に直属の上司だった方より情報提供頂き、経済産業省の担当者に佐世保までお越しただいて、脱炭素に向けて取り組んでいる自治体や事業者の皆様と、課題や要望について意見交換いたしました。

「住宅防災」については、国土交通省の局長みずから、省内の適任者を佐世保まで送っていただき、自治体の皆様と幅広い質疑を繰り広げました。

いずれの意見交換会でも出た課題や要望について、末次精一は、地元の皆様に責任をもってフィードバックさせていただくとともに、今後の国会活動において引き続き全力で取り組んでまいります。

※カーボンニュートラルとは  
温室効果ガス(主に二酸化炭素、メタン)には、人間の生活上排出される量と自然界や人工的に吸収される量とがあります。現在は排出される量が吸

収される量よりも多いために、地球温暖化が進んでいます。  
カーボンニュートラルとは、排出量を削減する(脱炭素の取組みなど)と同時に、吸収量を増やす(緑化推進など)ことを指し、温室効果ガスが増える量を実質ゼロにすることを言います。



## YouTubeを開設しました

末次精一が、国会議員としてのさまざまな活動を地元の皆様にご紹介するために、新しくYouTube(ユーチューブ)チャンネルを開設しました。チャンネル名は、「衆議院議員末次精一チャンネル」です。これから定期的に発信してまいりますので、ぜひご覧ください。YouTube「衆議院議員末次精一チャンネル」で検索、もしくはQRコードを読み取ってください。



## 新メンバー紹介



地元事務所(佐世保) 0956-37-3535  
東京事務所(第一議員会館) 03-3508-7176

連絡先

東京事務所の新しいメンバー、三津川一成(みつかわかずなり)さんをご紹介します。三津川さんは京都大学の先輩でもあり、伊藤忠商事を経て、世界最大級の不動産流通ネットワークであるセンチュリー21の日本本部(現在国内に993店舗を展開)の代表を10年間務められました。日本フランチャイズチェーン協会の副会長なども歴任されたのち、この度、ご縁あって、政策アドバイザーとして末次精一を支えていただけることになりました。日本中はもちろん、世界中を飛び回られたご経験をお持ちながら、「長崎は日本が誇る魅力ある街であり、もっともっと世界に発信していかなければならない」と後押ししていただいております。強力なパートナーを迎え、より一層、地元のため全身全霊で尽くしてまいりますので、皆様、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

## すえつぐ精一の国会日記



11月24日  
芳野友子連合会長と立憲民主党の衆議院議員1期生との懇親会に出席しました。終始和やかな雰囲気の中、大変有意義な意見交換ができました。



11月17日  
全国町村長大会に出席しました。毎年秋は、来年度の予算要望のため、東京では多くの大会が開催されます。